©Group Me!

Group Me! を活用したアクティビティ

アクティビティの考案者：玉川大学教育学部　大谷千恵
設定：参加者の親睦を目的としたアクティビティ
対象年齢：小学校中学年以上
（ここでは、教育学部の新入生のサンプルとなっています。
参加者に合わせて内容や質問などは調整してください。）
人数：35名以内
所用時間：46-60分（アクティビティの回数などで調整できます）

到達目標：
・ クラス内の緊張を解き、お互いに声をかけあえるようになる。
・ グループ内の人と、生き物についてのエピソードを共有できる。
・ グループの人と、協力して課題を達成できる。
・ この活動後も、参加者達がお互いに声をかけあって話す姿が見られる。

下準備：

Group Me!の生き物カードを使用します。
各グループの人数より１枚多く、５枚ずつ各種類のカードを用意します。各種類から１枚づつ取り、ランダムなグループができるように仕込みます。カードを配布する時は、必ず、男子・女子のいずれから配ると、男女のバランスがいいグループができます。

親睦会スタート

内容	留意点など	時間
＜グループづくりの説明＞ これから皆さんに配るカードは、ある生き物の成長の一過程か、体のある部分の拡大写真です。登場している生き物は、すべて小学校**2-4**年生までに教科書などに登場する生き物です。ですから、皆さんがよく知っている生き物、小学校の子ども達にとって身近な生き物です。 まず、自分と同じ生き物カードを持っている人を見つけてください。**3-4**人のグループができます。皆さんは、将来、子供達にもグループ分けをしていく立場にありますので、グループ分けの方法の１つとして今日は体験してみましょう。 ＜ルール＞ 今日のルールは、３つあります。 **(1)** わからない時は、自分から「これ、何？」と聞いてみましょう。 **(2)** 困っている人を見つけたら、積極的に助けてあげましょ	カードのサンプルを見せながら説明します。 指を折って見せながら、全員にルールを理解させる。	**10**分

う。将来、教員を目指す皆さんは、周囲の人達の様子を見ながら、助け舟を出したり、助けを求めることはとても大切な能力です。		
(3) 同じグループの人が見つかったら、まず簡単に自己紹介をし、どんな生き物か話しあってください。そして、生き物がわかったら、１人１人のカードがその生き物のどんな写真か話してください。	初対面の参加者がいる場合には、「呼ばれたい名前／ニックネーム」も紹介するようにするといいです。	
＜**Group Me!**を配布＞ では、カードを配布します。さっそくグループづくりを開始してください。	様子を見ながら、グループのできたところから、何の生き物か確認する。グループを間違えている人がいたら、正しいグループに行くように教えてあげる。	
＜グループができたところで＞ では、こちらを注目してください。まだ夢中で話しているグループがありますね。どのくらいで気づくか、話に夢中になっている人の方をニコニコ顔を見つめてください。	鈴やチャイムなど、大きすぎない音のもの（静かになるとよく聞こえるもの）を使ってもいいです。音に気づいた人に、まだ気づかない人を見つめてもらったり、手をつかった合図（人差し指を出して挙げるなど）をするなども効果的です。	
はい、全員、こちらを見てますね。では、説明を始めます。		
＜質問カード配布＞： これから質問カードを配布します。 質問カードには、**(1)**最近、一番嬉しかったこと、**(2)**最近、一番悲しかったこと，**(3)**思い出に残っている場所とその時の場面、**(4)**10年度の私、**(5)**3年前の私、**(6)**大切なもの、**(7)**忘れられない言葉、**(8)**自分で大切にしていること／心掛けていること、**(9)**信じていること、**(10)**これまでに一番がんばったこと、**(11)**許せないこと、**(12)**覚えたクラスメイトの名前と素敵なところ…など、色々なお題が入っています。引いたお題について、グループ全員が１人づつ話します。	＜質問カード＞ 質問ごとに切り、折りたたんで袋に入れます。袋はグループの数だけ用意し、各グループに配ります。	
＜アクティビティ開始＞ 準備はいいですか？グループが見つかりましたか？では、私の隣のグループから、どんな生き物か「せ～の！」の後に一緒に発表してください。カードも皆に見えるように見せてくださいね。 「せ～の！」グループ**1**：○○　（順に発表していく） どのグループも間違いないようですね。 では、「誕生日が一番早くに来る人」、カードを引いて、カードの質問を発表してください。 （サンプル：誕生日が一番早くに来る人、手が一番大きい人、	グループに間違いがないか確認しながら進める。ミスがある場合には、参加者達に「これは何？」と投げかけながら、答を教え、正しいグループに修正していく。 指名する時は、必ず個人の容姿や能力に関係しない条件を出してください。できれば、どう	**30**分～

朝ご飯を一番早い時間に食べた人、家が一番ここから近い人、この週末に家族と出かける予定のある人、…etc.） では、グループの人も１人ずつ質問に答えていきます（カードを読んだ人からスタート）。 ＜グループで話し終わった頃＞ では、いくつかのグループに発表してもらいます。グループの中で、一番皆が面白い／すごいと思う人のものを紹介してください。 各グループの代表者が発表（この時、そのカードの中で一番成長ステージの早い段階の写真を持っているところ／遅いところ，etc.を指名してしまってもいい。） ＜このように、「質問カードを引く→グループの１人１人が質問に答えていく→クラスで共有したい回答を選ぶ→クラス全体で共有する」の流れを何度か繰り返す。＞ ＜グループのシャッフル＞ では、「一番足の大きい人」立ってください。その人は、私から見て、左のグループに移動します。移動する前にメンバー１人１人と握手しましょう。 （同様に、質問カードを引かせて、お互いの価値観などを新しいメンバーで共有できるようにする。） ＜リフレッシュ＞ では、そのグループで工夫して、できるだけ大きな輪／小さな輪を作ってください（手をつなぐ、足を合わせるも可）。 大きく／小さく輪を作れたところから座ります。最後まで残ったグループに発表してもらったりする。 ＜時間と参加者の様子を見て、回数などを決めてください＞	でもいいようなことで、違いの出るような質問が場の雰囲気を和らげます。サンプルを参考にバリエーションを考えると楽しい時間になります。 教員の手元に残っている各カードをシャフルして、グループの生き物を引いて指名。 発表の後に、教員も回答すると、教員の人柄も伝わり、親睦が深まります。 時間を見ながら、どのグループも2-3回発表できるように指名していく。 少しマンネリしそうになったら、気分転換にグループをシャッフルします。 自然に手をつなぎ、お互いに親近感を持つ機会をつくります。 ＊この活動案末尾の「バリーエションをつけるアイディア」も参考にしてみてください。	
＜振り返り＞ ハ～イ、話が盛り上がっていますが、この活動はここまでにします。 最後のまとめに、今のグループの人達と握手してください。続きの話は、ぜひ、この後の自由時間に思う存分にしてください。では、一度、ここで挨拶をしてお別れしましょう。 お疲れ様でした。	いい感じで、色々なグループができて盛り上がってきたら、解散し、学生達の時間にします。 もう、インストラクターやファシリテーターがいなくても、自分達で良い関係を築いています。	5分

＜バリエーションをつけるアイディア＞
時間に余裕がある時などは、最後に創作発表の時間を入れても面白いです。例えば、「真実の愛」「希望」「努力」などの抽象的な言葉や「運動会」「卒業式」「ミュージカル」などの具体的なお題を色紙に印刷したものを袋から各グループに１枚ずつ引かせます。そのお題を、制限時間内に言葉を使わずに表現し、s見る側に答をあてさせるゲームを入れてもとても盛り上がります。